

引き続いて渡辺学徒の「頭の柔軟体操」～“ユーモア・ウィットの威力”をどうぞ！

第13回

原点回帰 (No.3～No.4)

平成26(2014)年6月

NO.3 温まる 標語1つで 事故が減り

その昔、宮崎へ里帰りし国道10号を走行中、フェニクスC.C.近傍で見掛けた交通標語には苦笑させられ、思わずアクセルを緩めていた。

飛ばせ飛ばせ、さあ飛ばせ
三途の川まで、あと一里

更に、国鉄バス宮林線沿いの花見付近で次のような立札も発見した。因みに「いいとも」は当地産焼酎名である。そして、流石、神話の古里高千穂の「天の岩戸の滑稽」を誇る日向人(ひむかびと)の面目躍如だと、宮崎県人として密かにほくそ笑んだのであった。

日本では行動規制の立札は一般に、どちらかといえばイソップ物語の北風型のものが多く、例えば、

コノ場所、立小便スルベカラズ
ココニ、ゴミヲ捨テルベカラズ
速度超過〇キロ毎、罰金□万円

などといった無粋なものが常用されてきた。ところが、「天の邪鬼」の気質が強いホモサピエンスには却って逆効果だという見解が近年多く、前記のものはその後、

この場所、犬猫以外立小便しないで下さい
ここには、一万円札以外は捨てないで下さい

の如く改められたとの話を仄聞する。



さて、土木工学は経験工学とも言われ、実戦でこそ磨かれるので、筆者は実際の工事現場見学を極力心掛けてきた。そして、現場に到着して真先に注目するのは、掲げてある現場標語である。それを見れば「現場の長」の管理運営の哲学が素早く読み取れるからであり、「いい標語のある現場は事故が少ない」と、かねて考えている。

「気を付けて」と送る笑顔に事故はなし

お土産は「無事故」でいいよ、お父さん

「まあいいか」悪魔のささやき、事故の元

馴れた手が、馴れた機械に、かみつかれ

片付け上手は仕事上手、きれいな現場に事故はなし

土木工事は危険な条件下で実施されることが多く、墜落災害や建設機械による事故などが絶えないが、現場にあるこの様な立札の一言一句によって、作業員が如何程励まされ癒されることか、計り知れない。

NO.4 現実+夢+ユーモア=知恵

昭和30年代、筆者は上京に際し、用件が片付いた後は決まって寄席巡りをしたものだが、新宿末廣亭で聴いた古今亭志ん生の独演会は特に忘れ難い。すなわち、

「ニュートンという偉い学者は林檎の樹の下で『万有引力』というものを発見したそうだが、ワシは雪隠（トイレ）にしゃがみながら、糞が落ちるのを見て見付けたんだ。ニュートン先生の方が250年くらい早く生まれていて、ワシの発見が遅れたのが実に残念」と、真に大仰な仕草で悔しがってみせたのである。最後に、

「ニュートンも己の糞に気がつかず」

の句を披露して噺を結んだのだが、「人生そのものが落語だった」といわれるほどの八方破れ・遊蕩三昧の志ん生が、こんなハイカラな格調高いテーマを語ったのだから堪らない。会場がいやが上にも沸いたことは言うまでもない。

ついでながら、三遊亭円窓の「万病丹」という噺もまた屁理屈の言葉遊びとして実に面白い。

その昔、殿様が「万病丹」という看板を掲げた薬屋の前で駕籠を止めさせた。

「おい、主(あるじ)！ 病気は昔から四百四病と決まっておる。いつから一万にも増えたのだ？ デタラメを申すと許さぬぞ」

「まず疝気、四十肩、五十肩があります」「1090 にすぎないではないか」「それに風邪の百日咳があります」

「馬鹿を言うな、風邪はひくものだ。100 を引け」「殿様ありました、産前産後」「 $1090 - 100 + 3035 = 4025$ 。それでもまだまだ足りないではないか？」

といった遣り取りの後、答えに窮した土壇場で、「ありました、ありました。たったひとつで腸捻転があります。」と答えて、事無きを得たというのである。

さて、林語堂のユーマ方程式によると、

現実+夢+ユーマ=知恵

となるそうで、そして「夢想家の多い社会は不安定、現実家ばかりの社会には進歩がない」のだそう。

狩猟時代は数万年
農耕時代は数千年
工業時代は数百年
情報時代はせいぜい五・六十年
その後に来るには、
「人間が中心に座る情緒の時代」である

月尾 嘉男

ところで、月尾嘉男教授は文明の推移を時系列で明快に刻み、その行き着く先を「人間が中心に座る情緒の時代」と喝破されて、文明の暴走を危惧する人間達に明るい期待を届けられた。そして同時に、「情報時代はせいぜい五・六十年」との予測されているのだが、虚偽・捏造情報などもふんだんに混入された、夥しい情報洪水の中で、自由と贅沢に酔い痴れ、自ら思考することも怠けている、特に日本人が、もし万が一にも、劣化しながらも強力な権力を握ったマスコミに誤誘導されて、社会の基軸が攪乱され、人間社会そのものの崩壊が先行するなどという、由由しい事態にならぬことを切に祈りたい。

渡辺 明 九州工業大学名誉教授
夢アイデア審査委員会 初代（平成 14 年～17 年）委員長